



病 院 D A T A

地域医療支援病院
 特定医療法人「鴻仁会」岡山中央病院
 〒700-0017 岡山県岡山市伊島北町6-3
 TEL:086-252-3221
 FAX:086-252-1700
http://www.kohjin.ne.jp/sisetsu/och_info.htm

けていけることを嬉しく思いますし、患者さんにも心強く思っただけなのではないかと思えます。また、担当する医師によって治療の内容説明にムラが生じないように、医師全員で病状説明のためのコンピュータファイルを共有しています(写真1)」と谷合先生。

「私たちは”患者さんの医療は患者さんの最も望むことを中心にして決めてゆく、医師や医療スタッフはできる限りそれを支援する立場にいる”と認識しています。透析選択の場合においてもHDとPD、両方のお話をし、患者さんにどちらを選択するか決めていただいています」。谷合先生はPDファーストを推進されているそうです。その理由を伺うと、「PDファーストのほうが患者さんの予後がよいことが確認されています。それ以外にも在宅で自分の生活が続けられ

ること、自尿が確保できるという大きなメリットがあります。また『ゆめ』などの機器の使用や長時間貯留が可能な新しい透析液、エクストラニールの登場などによって透析メニューやスケジュールの調整など、QOLの面からも数多くの利点があります。現在、26名のPD患者さんがいらっしゃいますが、社会復帰されている比較的平均年齢の若い患者さんが多いですね」「また、PDと週1~2回のHDを併用している患者さんも多くいらっしゃいます。HD併用療法は透析不十分からくる身体症状の緩和だけでなく、腹膜休息日がつくれる、患者さん自身が透析をお休みして自由に時間を使える日が確保できるなど、多岐にわたって利点が存在します。大切なのは透析をするために生きているのではなく、透析によっていかに元気に暮らしていけるよう

にするかを患者さん自身に認識していただくことです。患者さんがどのような生き方をしたいのか話し合っ、意志を尊重し、それをプロとして精一杯サポートするのが我々の役目だと思っています」

患者さんとスタッフが
 一緒にがんばることができる
 クリニカルナビ

また、同院では患者さんに情報を正確に伝え、各治療段階における自分の状態をイメージしやすいように、クリニカルナビというシステムを取り入れていま

腎生検結果説明

「IgA腎症」の患者様へ

腎不全と
 透析の選択

腎不全が進んでこ
 られた患者さまへ



写真1
 共有のコンピュータ
 ファイル